

「群馬抑制廃止研究会」趣旨書

日本のあらゆる分野が大改革の時を迎えています。医療・看護・介護の問題も例外ではありません。高齢者の自立を支援する介護保険制度のスタートに伴い介護保険施設等における身体抑制が原則として禁止されることになりました。このことは、介護保険施設等に関わる者にとって誠に重大な問題であります。つまり身体抑制の対象となる利用者にとっては、人間の尊厳と良質な介護が確保されるかどうかということであり、又介護サービス等を提供する側にとっては身体抑制なしで高齢者の安全を図りつつ必要な介護サービス等を提供することをいかに実現するかということでもあります。

ここで、介護サービス等を提供する立場のものに求められることは、問題の本質を正しく把握、現状を謙虚に見詰めた上で解決の道を探ることではないでしょうか。国や県の指導を待つという受身の姿勢では抑制廃止の問題を根本的に解決することは難しいと考えられます。

そこで私達は、抑制廃止の問題に、自主的にそして積極的に取り組むためにこの度、抑制廃止研究会を発足させることに致しました。抑制を廃止することは、従来の医療、看護、介護の問題点を検討し、その質の向上を目指すことでもあります。このような観点から私達は全国の先進事例に学びながら、私達の抱える問題点を分析し、抑制廃止に向けて道を探りたいと考えています。

介護保険制度の実施と伴に抑制廃止は国の制度として動き出しており、これに如何に取り組むかは正に私達の存在がかかった問題です。多くの皆様と力を合わせて解決の道を切り開いてゆこうと考えています。

私達の趣旨に賛成される方々が「群馬抑制廃止研究会」にご参加下さるようお願い申し上げます。

世話人会長 角田 紘二

(以下五十音順)

牛久保富子
内田 好司
須藤 英仁
鶴谷 嘉武
中村 紀雄
原 淳子
本多 忠光
美原 樹
美原 恵里
森田 修
矢島 祥吉